

## 城南高校存続のための署名にご協力

# ありがとうございました!



一昨年末、京都府教育委員会は府立高校の再編統廃合計画を発表しました。それ以来、現場の生徒や教職員、地域住民の声を無視して、いきなり上からおろしてくるという進め方を府教委は続けています。このトップダウンともいうべきやり方に、私たちは一貫して反対の声をあげ、運動をしてきました。その一環として、昨年1年間で3回の署名活動を行い、集めた署名の総数は2万5千筆を超えました。この間、多くの府民の方からあたたかい励ましの声をかけていただいています。署名へのご協力、ほんとうにありがとうございました。

それらの署名はすべて府教委に届けましたが、教育委員会の定例会議では「いつも似たような声ばかり」とまったく検討されませんでした。昨夏、城南高校生徒会がおこなった「全校生アンケート」では、7割以上の生徒が西宇治との再編統廃合に反対と答えています。この結果も府教

委に届けましたが、やはり顧みられることはありませんでした。

そして先日、府教委は、西宇治との再編校の新校名3候補と専門学科(仮称)を発表しました。しかし、今回もまた、現場にいる教職員も生徒も新聞紙上で初めて知るといふ、いままでも同様のトップダウンで一方的なものでした。

特色づくりのの名のもとに「スーパー高校・学科」ばかりが増え、学校間格差が広がり、複雑化する一方の公立高校入試。中学校の進路担当の先生は、現在の入試制度では府教委が宣伝しているように行きたい高校を「自由に選べる」中学生は1割程度しかいないと悩んでおられます。

中学生や保護者にとつて、目の前にあるのに「遠い」学校が増えているのです。そんな中で、城南高校は中学生にとつて安心して「選べる」学校であること、私たちは確信しています。

そんな城南高校の存続のために、

これからも活動を続けていきたいと思えます。どうか引き続きご支援をよろしくお願いします。

そして「高校再編計画」は福祉や教育にまでも経営効率を優先させようとする現府政の結果です。知事選挙を契機に、再編計画を凍結させるような府政を実現したいものです。子どもたちが安心して学校に通える、そんな社会を実現しましょう。

2006年3月

京都府立高等学校教職員組合  
城南高校分会

城南高校統廃合関連情報サイト

## はろばろ

- パソコンからは  
<http://www.harobaro.net/>
- 携帯端末からは  
<http://www.harobaro.net/i/>

